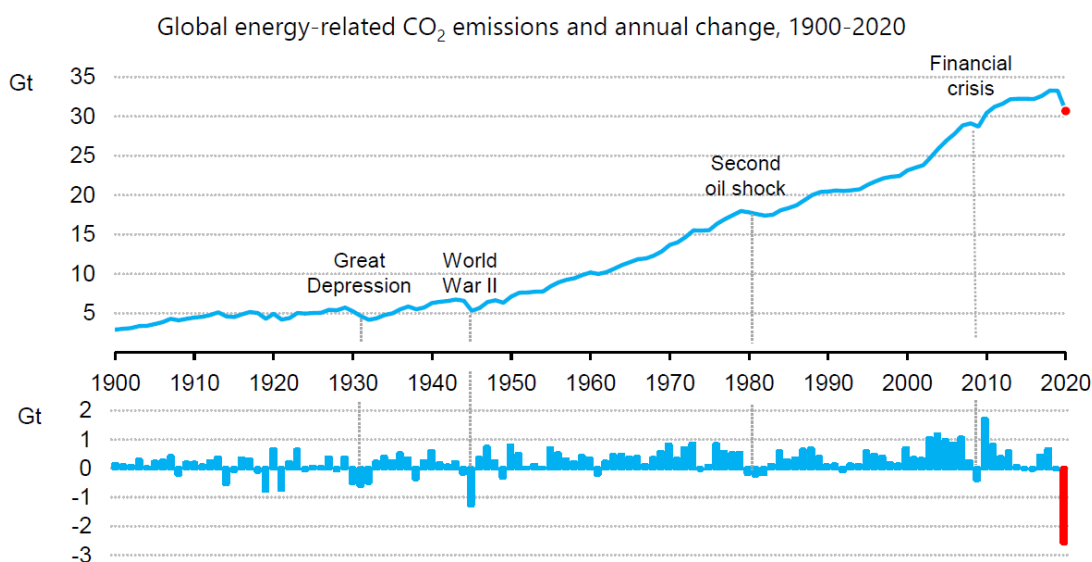


## IEA の Global Energy Review 2020

### 2020 年エネルギー需給へのコロナ禍影響レポート

<http://ieei.or.jp/2020/05/expl200522/>



### CO<sub>2</sub> 排出量

2020 年のエネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量は前年より約 2.6Gt 減、率にして 8%低い 30.6Gt となると見込まれる（折れ線グラフ）。この落ち込みは、リーマンショックによる 2009 年の低下量の 6 倍の大きさであり、第二次世界大戦以降の年変化における減少幅の合計の 2 倍の大きさである（棒グラフ）。CO<sub>2</sub> 排出削減の燃料別の寄与は、石炭、石油、ガスそれぞれ 1.1Gt、1.0Gt、0.4Gt である。

### CO<sub>2</sub> 排出量の今後の推移に関する一考察

このコロナ禍による経済へのマイナスの影響は短期で終わり、やがて回復すると考えるのが妥当であり、2020 年の減少傾向が 10 年間続くというような想定は現実的でない。Global Energy Review 2020 にも、「2020 年の前例のない排出量の減少は、構造的な変化がなければ一時的なものに過ぎない可能性がある」とある。前例として、リーマンショックの時の CO<sub>2</sub> 排出量の変化を見てみると、前掲の CO<sub>2</sub> 排出量と年変化の図にも示されているように、2009 年には前年比で 1%減少するが、翌年には 6%の増加に転じ、翌年は 3%の増加、その後は 0~2%の間の増加率で推移している。